



2024年2月13日

各位

会社名 株式会社メニコン
代表者名 代表執行役社長 川浦 康嗣
(コード番号：7780 東証プライム市場・名証プレミアム市場)
問合せ先 執行役 経営統括本部長 渡邊 基成
(TEL. 052-935-1646)

2024年3月期 通期連結業績予想修正に関するお知らせ

当社は最近の業績の動向等をふまえ、2023年5月15日に公表いたしました2024年3月期の連結業績予想について、下記の通り修正の実施を決議いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 2024年3月期通期連結業績予想数値の修正 (2023年4月1日～2024年3月31日)

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	親会社株主に 帰属する 当期純利益 (百万円)	1株当たり 当期純利益 (円)
前回発表予想(A)	116,000	12,300	12,000	7,600	99.89
今回発表予想(B)	116,000	10,500	10,300	6,000	78.85
増減額(B-A)	0	△1,800	△1,700	△1,600	—
増減率(%)	0%	△14.6%	△14.2%	△21.1%	—
(ご参考) 前期実績 (2023年3月期)	110,194	12,062	11,755	7,377	97.25

2. 修正の理由

当第3四半期連結累計期間までの業績につきましては、中国におけるオルソケラトロジー関連製品の販売は景気停滞の影響を受けましたが、欧州・北米地域におけるディスプレイコンタクトレンズ及びケア用品の販売が堅調だったため、売上高および売上総利益は概ね想定通りに推移しております。一方で、グローバルでの人的補強を含む販売体制強化や新型コロナウイルス感染症の収束による営業活動の正常化に伴い、販売費及び一般管理費が増加いたしました。加えて、国内の価格改定への対応費用等の一時的な費用が発生いたしました。そのため、想定よりも多く費用を使用したことにより、営業利益以下各段階利益は前回発表予想に対して進捗率が低く推移しております。

第4四半期連結会計期間においては、中国において景気停滞の影響が継続することを想定しているものの、欧州・北米地域におけるディスプレイコンタクトレンズ及びケア用品は販売が堅調に推移すること、国内の価格改定が順次進捗することで売上総利益率の改善が見込まれます。しかしながら、販売費及び一般管理費としてグローバルでの販売体制強化等の将来の成長に向けた取り組みや、株式給付信託終了に伴う債務保証損失引当金繰入額の特別損失の計上可能性を見込むことにより、営業利益以下の各段階利益は前回発表予想を下回ることが想定されます。

以上を勘案し、2023年5月15日に公表いたしました通期の連結業績予想を修正いたします。上記の連結業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以上